



四季報

平成27年
7月1日発行
第4号

みんなラボ・広報編集室 TEL : 029-879-7351 FAX : 029-879-7352 つくば市吾妻3-14-17 細田ビル2階

2014年度

みんなラボ第3回総会報告

第3回総会は3月24日午後1時より会員40名出席のもとに開かれました。会員の活発な質疑応答、フレックトバイオリン実演のパフォーマンスなどもある中で、盛り上がりを見せ、無事終了いたしました。以下総会報告の概要を記します。

▼みんなラボニュース

●研究助成期間終了

9月30日付で科学技術振興機構(JST)の助成期間が終了、みんなラボは大学内研究組織として自立。

●IAUD大賞2014

ソーシャルデザイン部門にて金賞受賞。

▼これからの会計

●収入源

企業・団体(コンソーシアム会員)からの学術指導費・業務受託及び外部研究費(助成金、共同研究)が主。必要経費は自己経費で独立採算。全て別々の「お財布」として、大学が管理。基本的に「年度ごと予算」が多い。貯金は不可、みんなラボとしてのまとめたの会計は現在のところ出来ない。大学側と交渉中。

▼2014年度会計概要報告

JSTからの助成金・学術指導・業務受託・共同研究(5社)・外部研究費(助成金、共同研究)2件、必要経費は自己経



総会風景

費で独立採算。

○コンソーシアム・メンバー入会費・会費収入。

▼2015年度活動計画

●データベースの充実

地域在住高齢者が参加者登録するデータベースの更なる充実(ボランティア活動、「モノ」の使いやすさを検証・研究する)活動への参加者を増やす。2014年3月現在の参加登録者は215名、平均年齢71歳、男45%対女55%とバランスのとれた構成となっている。

●みんなラボコミュニティのさらなる展開

高齢者メンバー(ボランティア参加)、みんなラボコンソーシアム(企業・団体会員等)、みんなラボ研究グループの3者が共に学び、新たな価値を創造できるコミュニティの確立。

▼2014年度活動報告

●IAUD大賞 IAUDアワード2014で金賞受賞(ソーシャルデザイン部門) 加齢に関する研究と使いやすさ試験研究において、高齢者をパートナーとして積極的な参加に導いたこと、また加齢に伴う能力変化の蓄積されたデータベースが、重要かつ長期的な研究の可能性を開くということが高く評価された。

●人事異動 2014年4月研究員2名着任・栗延孟、富田瑛智。2015年3月研究員2名転出・栗延孟(東京都健康長寿医療センター研究員)、富田瑛智(筑波大学助教・エンパワーメント情報学担当)。2015年4月研究員1名着任・杉本匡史。

●みんなラボカフェ活動 第20回・大切な情報を知らせてくれるロボット、第21回・TOTOのユニバーサルデザイン、第22回・3Dスキャナーはじめの1歩、第23回・「まちのほけんしつ」プロジェクト、第24回・自分で続ける健康チェック!健康づくり応援手帳はいかがでしょう、第26回・新間のデジタル化を考える、第27回・新しいやわらか食「あいーと」を体験する、第28回・私でも曲が弾け

る!フレットバイオリンの魅力。 ●みんなラボ広報活動 各情報誌及び新聞等に活動内容記事を掲載。日経デザイン(2014年10月)、常陽リビング(2015年1月)、筑波大学新聞(2015年1月)、常陽新聞(2015年3月)。 ●コミュニティ活動 みんなラボ研究員プロジェクト(病院チーム)、広報編集委員会・広報誌「みんなラボ四季報」第3号まで、土曜会議(食の会・みんなラボレシピ・みんなラボ遠足)、サークル活動「アンサンブルフレット」。 ●みんなラボ使やすさ検証活動 電動アシスト付歩行車、ペットボトルの開けやすさ、車載機器(エアコン)の使やすさ、ハイブリッド車&エコ運転の使やすさ、病院実験(輸液ポンプ評価)、複合機のメンテナンスのしやすさ(タブレットを使った新しい機能)。 ●みんなラボ研究活動 炊飯器の使やすさ(長期検証実験・葛岡研・村上)、新しい電子レンジの使やすさ(原田研・長谷川)、新しい朝食課題(原田研・田中)、自動運転シミュレーションゲーム(原田研・大塚)、カプラをいかに使うか(原田研・運天)、画面の使やすさ(迷路ゲーム)(原田研・大門)など。



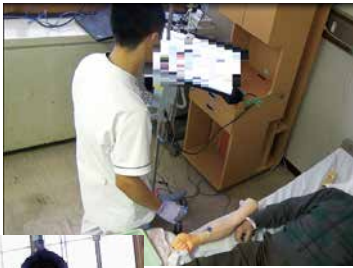
展示パネル説明

みんなラボ使いやすさ検証活動

新しい輸液ポンプの使いやすさ研究

平成27年2月の下旬に筑波大学附属病院で新しい輸液ポンプの使いやすさに関する実験が行われました。

今回の実験の目的は新しい輸液ポンプの使いやすさを検討するというものです。輸液ポンプは人工呼吸器の次に医療事故が多い医療機器です。従来の輸液ポンプは、看護師が医師の指示の下で手作業で数値の設定をしていました。この作業を行う際に数値の入力ミスがあるかもしれません。そこでコンピューターに入力された医師の指示がそのまま輸液ポンプに反映されるようにしたらどうかと考え、産業技術総合研究所の佐藤洋先生が新しい輸液ポンプを開発しました。新しい輸液ポンプには画面がついており、看護師さんや患者さんが点滴の状況がわかるようになっていました。今回はその新しく開発された輸液ポンプの使いやすさについての研究を行いました。



▲検証実験の様子



◀栗延研究員と佐藤先生

参加者は筑波大学附属病院の看護師さんが12名(内新人6名)、患者さん役としてみんなラボ会員の方が12名でした。実験方法としては看護師さんに従来の輸液ポンプと新しい輸液ポンプを使って患者さん役に点滴を行ってもらおうというものでした。

実験の結果、以下の2点が明らかになりました。

①新しい輸液ポンプは、「より安全な点滴」ができる環境を提供する可能性が示されましたが、それに気づき、より有効に利用しようとしていたのは、特にベテランの看護師さんたちでした。

②必要な機能すべてを一度に実現することは難しく、安全、便利、安心などの側面から、優先順位をつけて実現する必要があります。あることが示されました。

病院の皆様にも全面的に協力していただいたこと、看護師の皆様が本当に患者さんと接するように参加して下さったこと、患者さん役のみんなラボ会員の皆様が本当の患者さんのように看護師さんに話しかけたりするなど、多くの方が真剣に協力して下さいましたこと、よりよい実験を行うことができました。(篠原・杉本)

佐藤先生のコメント

画面の向きを患者さんの方に向けるかどうかによって、患者さんと看護師さんの会話がかわっていたように思えました。患者さんと看護師さんをつなぐ役割を果たすベットサイドにおいてある医療機器があってもよいと思います。今後はもっと患者さんの立場に立った医療機器や医療サービスについて考えていきたいと思います。

居場所作り

「みんなで遊ぼうインプロゲーム」

明るい春の日差しの中、桜が一気に開花した3月30日、足立区西伊興ファミリー広場で行われましたAll Stars Project of Tokyo主催の「みんなで遊ぼうインプロゲーム」のイベントに取材に行ってきました。このイベントを主催された、筑波大学心理学域の茂呂教授にインタビューをお願い致しました。

「この会は、足立区の子どもたちに学校の勉強とは違った、遊びの学びの経験をあたえようという趣旨で企画した会です。同時に、子どもたちの発達を助けようとしている多くのグループをつなぐ居場所作りということもねらいにしました。そのグループには、苦

勞しながら子育てをするお母さん方、子育て支援をしている団体の方々、放課後の子どもたちの学習を面倒見ても



すいとん作り



会場の様子



All Stars Project of Tokyo

いる方々が、参加してくれました。みんなラボ・食の会の岡野さんや友人の方にご協力いただき、すいとんをみんなで作って食べたり、インプロゲームやマリンバの演奏を楽しみました。つくば市周辺での開催も検討しています」とのことでした。満開の桜の下、一台のマリンバを二人の連弾による軽快なデュオで、盛り上がりました。新鮮な野菜のたっぷり入ったすいとんもおいしかったです。このイベントについては、海外から「いいねー」が、たくさん入っていました。(石津)

All Stars Project of Tokyo主催イベント

☆
みんなで遊ぼう
インプロゲーム

東京藝術大学の音楽家チームと一緒に、体を動かすゲームをして遊んでみませんか？

※お昼には、すいとん汁が出ます!!

日時：2015年3月30日(月)
9:00~16:00 (途中参加・退場も可です)

場所：西伊興ファミリー広場 (竹ノ塚駅から徒歩15分) 雨天の場合、伊興会館センター

【参加申し込み】
おおよその参加人数を把握する必要があります。なるべくお早めにお申し込みください。お申し込みはtsukuba.ac.jpまで、下記の欄を参考にメールでの参加申し込みをお願いします。
※同日の申し込みは受付できません。

【募集】
①インプロゲームに参加
②みんなで遊ぼうインプロゲームの司会者を募集します。

【保護者の皆様へ】
私たちは芸術系かつ理科系のある筑波大学で、心理学を専門に研究しております。私たちの研究テーマは現在、楽しみながら学ぶこと、自ら学ぶこと、自分の可能性を最大限に引き出すことに関するものです。様々な課題を解決しています。今回、このように遊びを通じて子ども達に楽しんでもらうためのイベントを企画いたしました。どうかご理解のほど、よろしくお願ひ致します。

運営母体：筑波大学児童福祉心理学研究室(茨城県つくば市天台1-1-1筑波大学心理学域)
TEL: 029-853-4597(心療事務室) e-mail: ymoro@human.tsukuba.ac.jp

第28回みんなラボカフェ



第28回みんなラボカフェは「私でも曲が弾ける！フレットバイオリンの魅力」と題して、2015年1月23日13時30分～15時30分にノバホール小ホールにて開かれました。講師としてエルデ楽器の緒方啓史さんと瀬田直弘さんをお迎えし、お話をいただきました。

バイオリンと聞くと「難しい」という印象をもちますが、初心者でも演奏できるデザインのバイオリンがあり、「これを使えばだれでも楽しく練習して短期間で曲を弾くことができる！」のです。それがバイオリンにフレットをつけるということで、実際に見て触れてみて、実感することができました。



みんなラボでは既にこのフレットバイオリンを二台購入しており、どなたでも興味のある方はお試しいただけるそうです(使ってみてみたい方は、事務局までご一報ください)。またエルデ楽器さんのご厚意でさらに数台をお借りして、サークル活動も始まっています。現在4名の会員が栗延さんの指導のもとで練習を行っており、近い将来演奏会や他の楽器との合奏も考えておられるそうです。みんなラボメンバーの演奏を聴くのが楽しみです。



「健康自慢サークル」

健康とは、二本の足で自由に歩けること

去る5月13日に「健康自慢サークル」が立ち上がりました。会員からの提案から始まったサークルです。事前申し込みでは20人からの参加でした。

健康自慢サークルとはどんなことを目的にするのかご案内だけではわからなかったのかもしれない。当日、提案者(今井)から会の目的についてパワーポイントを使つての説明がありました。

(1) シニアの居場所作り

サークルに参加することで話をすることが出来る。話を聞いてくれる仲間がいる。

(2) 自分たちのストレス発散の場所

自慢話をする事で気分よくなる。

(3) みんな仲間づくり

みんなラボ会員になった人が会員同士のコミュニケーションを図ることが出来る。

(4) 仲間が行っている健康づくりを知る

健康づくりについて具体的に話を聞くことが出来る。

以上により、みんなラボ会員同士の横のつながりが深まって欲しいと思います。

さて、発会はどうだったのでしょうか？まずは、つくば市レクリエーション協会の柏原公子さんによるオリエンテーションです。ゲームを通して参加者の緊張を取り除いてくれました。今井からの説明後、3つのグループに分かれてのワークショップです。会場に入るとき、どのグループに入るか番号を引いています。1のグループは食と健康です。2のグループは運動と健康です。3のグループは住まいと健康です。

それぞれ6～7人のグループに分かれました。

食と健康のグループからは、①食べないわけにもいかないし、健康じゃないと迷惑をかけるから

と、カロリーを気にしながら食べている。②健康のためとはいえ、まずい食事はつらい。③醤油使わなくても具自体の旨味を味わう。などなど。

運動と健康のグループからは、①若い時はテニスを、今はウォーキングをしてからラジオ体操している。②仲間がいるから続いている。③運動は毎日やるのが大事。④外に出て歩き季節を感じることで気持ちよくなる。

住まいと健康のグループからは、①バリアフリーであるけど、それよりも自分の足を鍛えて健康を維持したい。②マンションは部屋が狭いで運動のスペースがない。③マンションに住んで仲間と集まる場所があると良いと思う。④身の周りを身ぎれいにすることも住いの健康と思うが断捨離をしたい。などなど、どのグループも時間が足りないようでした。

参加者からのアンケート結果ですが、①とても楽しく参考になった②サークルをずっと続けてほしい。③時間があれば自己紹介の時間が欲しかった④グループで話したことにより親しくなれたこと。これからも輪を広げていけたらと思う。

次回開催日時を7月23日10時30分からサイエンスインフォメーションセンターに決定して閉会しました。



主催者あいさつ



オリエンテーション風景

今までお世話になった研究者と、これからお世話になる研究者にインタビューしました。

栗延さん・富田さん(転出)

① みんなラボに入ったのは何年前ですか？またそのきっかけは？

栗延 2014年4

月から、みんなラボでお仕事を始めました。大学院時代から高齢者の心理について研究をしており、学会などで以前からみんなラボのことは知っていました。それで、研究内容に興味があったため、みんなラボに入りました。



富田 研究者



栗延 研究者

富田 1年前の2014年の3月末からみんなラボに来ました。みんなラボに来る前に原田先生、静岡大学の須藤先生が行っていた自動車の調査に混ぜていただいております。その縁でみんなラボに来ることができました。

② みんなラボで楽しかったこと、苦しかったことは？

栗延 いろいろと研究ができて楽しかったです。これまであまりみんなラボカフェのようなイベントをしたり、新しく企画をつくるなどの経験がなかったもので、そういう部分は大変でしたし、勉強になりました。

富田 楽しかったことは、会員の皆様といういろいろお話できたこと、自動車の調査で様々な車に乗れたことなど沢山あります。また、みんなラボでは、これまで行ったことがない新しい研究や

活動に参加することになり、すごく大変でしたがいい経験になったと思っています。

③ みんなラボに居る間、自分自身に起こったことや変化したことは？

栗延 太りました…。つくばはおいしいラーメン屋さんが多いですね…。

富田 関西弁があまり出なくなっただと、栗延さんと毎日ラーメンを食べると、10キロくらい太ったことです…。

④ 結婚、結婚されたそうですがお幸せですね？

栗延 ええ、まあ(笑)。彼女も研究者を目指しているので、お互いに支えあっていければと思います。

富田 ありがとうございます(笑)。まだ、あまり実感はないですが、二人うまくやってこうと思います。

⑤ これからどんな仕事をされるのですか？

栗延 新しい職場では、全国の高齢者の方々を対象に、健康や生活、心理的な側面などについて調査する研究に参加します。

富田 新しい場所は大学院生の教育機関なので、大学院生を育てるための授業を行ったり、カリキュラムの調整を行っています。

⑥ みんなラボと会員向けに一言

栗延 1年間ありがとうございました。みんなラボでお仕事をさせていただき、みなさんとお話をしたりする中で、たくさんのお話を学ばせて頂きました。これからもみんなラボには時々顔を出しますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

富田 今考えると1年だったのかと思うぐらい沢山のイベントや研究に参加することができました。しばらくつくばに滞在しますので、どこかでお会いした際にはまたよろしくお願いたします！

杉本さん(転入)

① これまでの所属は？またそこでどのような研究を？

京都大学の教育学研究科で大学院生でした。大学院在学中は方向感覚や道案内の研究をしていました。



杉本 研究者

② みんなラボに来たきっかけは？

原田先生の学会発表を以前に伺ったことがあり、興味を持っていたところに研究員の募集があったので応募しました。

③ 会員の皆様へ一言

着任して1ヶ月ですが、様々なイベントに関わらせていただき、新鮮な気持ちで過ごしています。改めてよろしくお願いたします。(八文字・吉村)

みんなラボ事務局ウラばなし

こんにちは。みんなラボ事務局の萩野です。いつもお世話になっております。

2011年の年末に私がみんなラボに着任して、最初に任された大きな仕事は、みんなラボ会員になってくださる高齢者さんをお誘いすることでした。今でこそ、おかげで230名を超える方々がみんなラボ会員になってくださっていますが、当初はどこにどのようにお声をかけたらよいか、ほとんど手ぐり状態でした。体操教室やブランドゴルフの会を紹介していただいて、張り切って出向いても、100名以上の方に呼びかけて1人もお返事をいただけなかったり、反対に30数名の参加者さんの半数近くが快くお申し出いただいたり、面白いなあ、と思いながらあちこちにお邪魔させていただいたことを、懐かしく思い出します。それでは、今日はこの辺で。

編集後記

私がみんなラボの存在を知ったのが今年1月で、気づくと「四季報」4号の編集後記を担当していました。まだみんなラボのなんたるかもよく解っていないような私でも大丈夫？とも思いましたが、編集会議に参加すれば何とかなる？と引き受けました。

編集長のご指導よろしく、第1回の会議から委員の皆様やる気満々この先が楽しみになりました。計4回の編集会議もカンカンガクガクかつ和やかに、紙面は充実し楽しいものに仕上がることができました。これからも皆様のご意見、ご希望等お聞きしながら、もっと充実して皆様のご期待にそえますよう楽しみに頑張ります。

編集者紹介

【みんなラボ会員】 根岸(編集長)、石津、石橋、今井、佐々木、篠原、田内、町田、八文字、星、柳井、吉村 【みんなラボ事務局】 萩野、富田、栗延、杉本 【筑波大学教員】 原田、茂呂 【筑波大学学生】 北本、田中、新原、広瀬

お問い合わせ

みんなの使いやすさラボ

茨城県つくば市吾妻3-14-17 細田ビル(ウエルシア)2階
TEL : 029-879-7351 (受付)月~金 9時~17時
FAX : 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp